

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月16日

協議会名:	中土佐町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>中土佐町は高知県の中西部に位置し、平成18年1月に1町1村が合併した人口7,064人(平成29年10月31日時点)面積が193.28平方キロメートルの町です。平成25年のコミュニティバス運行開始までは、公共交通としてJR四国の鉄道(土讃線)と、高知高陵交通及び四万十交通(当時は高南観光自動車)の路線バス、そしてタクシー事業者(町内に1社)が運行していました。しかし高齢化の進行や人口減少などにより、バス停まで出られない高齢者の増加などにより、生活を支えるための外出手段に困窮する町民が増えてきました。平成25年1月には、このような町民の生活を支えるための移動手段として、コミュニティバスの試験運行を開始し、同年10月からは本格的な運行を行っています。</p> <p>今後は、運行しているコミュニティバスと、幹線としての鉄道や路線バスの連携による利便性向上を進め、高齢者に加え免許返納者、自家用車を利用している人にも気軽に使っていただけるための情報発信と地道な利用促進の啓発を行います。また、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを整備するため、公共交通網形成計画の策定に取り組み、高齢化が進む本町の移動手段を確保し、安心安全な地域生活を守る地域公共交通を目指します。</p>